

ECOスタイル™ 基盤技術

Basic Technologies of ecostyle™ Products

巻頭言

意識せず、快適と省エネを実現する技術

Technologies for Effortlessly Creating Comfortable and Eco-Friendly Lifestyles

一概に家電製品といっても、実に様々なものがあります。光あるいは様々な明かりは、文字どおり生活に明るさを演出します。風すなわち空気の流れを調整する、いわゆる空調によって快適な生活空間を作り出します。水や火を使うことによって衣食を満たします。これら生活の基盤を電気を使って快適にしてきた日本の家電製品は、早くから省エネに取り組んできました。

エネルギー危機と言われ久しくなりますが、省エネの必要性はますます高くなってきています。こうしたなかで、今われわれが求められているのは、お客さまに満足いただける快適な生活を、今までよりも小さなエネルギーで実現することです。

東芝は代表的な商品として、業界最初の省エネノンフロン冷凍冷蔵庫やインバータエアコン、ヒートポンプで乾燥する洗濯機などを商品化してきました。2008年4月、東芝の家庭電器部門を統括する東芝コンシューマエレクトロニクス・ホールディングス(株)グループは新たな体制でスタートし、環境調和型の家電製品を使用いただくことで、意識せずに快適で環境に配慮した新しい生活を実現するライフスタイル“ECOスタイル™”を提案しています。

例えば、照明については白熱灯から蛍光灯に変えることで省エネができます。当社グループの東芝ライテック(株)は、二酸化炭素(CO₂)排出量の削減に貢献するため、120年間にわたり継続してきた一般白熱電球の製造を2010年をめぐりに中止する決定を、2008年4月に行いました。更に、長寿命、省電力が特長のLED(発光ダイオード)照明を商品化して、いっそうの地球環境改善にまい進しています。

快適な驚きの空間として、必要な部分は明るく、部屋全体はやわらかな照明を演出できないだろうか。こんな思考の発展がECOスタイル™の提案を生み出し、技術者が商品を開発する過程で必死に努力した結果、ブレークスルーする技術が生まれます。

この特集では、多くの家電製品の開発過程で生まれる、こうした快適と省エネを実現する技術の一端を紹介いたします。



岡崎 静夫
OKAZAKI Shizuo